

令和 8 年度第 3 回「奈良・サマルカンド特別交流展」組織委員会会議録		
開催日時	令和 8 年 5 月 2 6 日（火） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分 まで	
開催場所	奈良市役所中央棟 5 階 広報課会議室	
開催形態	非公開（奈良市情報公開条例第 7 条及び第 29 条に定める不開示情報を含むため）	
出席者	委 員	仲川会長、井上副会長、青柳委員、ウメロワ委員（駐日ウズベキスタン共和国大使館一等書記官 イザティラ・グリャモフ様、同館二等書記官シロジ・アジゾフ様代理出席）西村監事、橋爪委員、橋村委員【計 7 人出席】 （駐日ウズベキスタン共和国大使館一等書記官 イザティラ・グリャモフ様、同館二等書記官シロジ・アジゾフ様はオンライン出席、青柳委員及び橋本委員は欠席）
	オブザーバー	山下オブザーバー、奈良オブザーバー （栗山オブザーバーは欠席のため、奈良オブザーバー代理出席）
	事務局	観光経済部長、観光経済部次長、観光戦略課長、サマルカンド特別交流展推進室
担当課	観光経済部 観光戦略課	
議 題 又は 案 件	議題 （1）議案第 1 号 令和 7 年度事業報告書・収支計算書について （2）議案第 2 号 事業計画の変更について（アフラシアブ壁画展示について） （3）議案第 3 号 事業計画の変更について（主催者の追加について） （4）議案第 4 号 事業予算の変更について （5）議案第 5 号 令和 8 年度事業概要について	
決定又は 取り纏め 事項	1 令和 7 年度事業報告書・収支計算書については承認 2 事業計画の変更（アフラシアブ壁画）については、意見を付して承認 3 事業計画の変更（主催者の追加）については、意見を付して承認 4 事業予算の変更については、意見を付して承認 5 令和 8 年度の事業概要については、意見を付して承認	
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等		
1 令和 7 年度事業報告書・収支計算書について ・事務局より、令和 7 年度事業報告書・収支計算書について、資料を基に説明。 ・委員より、個人版ふるさと納税の寄附額が増えているということは、機運が上がってきたのではないかと思います。 ・事務局より、個人版ふるさと納税は、クラウドファンディングの実施をし、目標額を設定し大々的に広報をおこなった。企業についても、実際に足を運び展覧会概要		

等を説明することで数多くの企業に関心を持っていただけるように努める。

2 事業計画の変更について（アフラシアブ壁画展示について）

- ・事務局より、事業計画の変更について（アフラシアブ壁画の展示について）、資料を基に説明。
- ・委員より、アフラシアブの壁画を展示できるのは確定なのか。
- ・事務局より、ウズベキスタン大統領からのお墨付きは得ているが、まだ調査士との調整が完了していないため、引き続き調整を続ける。
- ・委員より、アフラシアブ壁画の歴史的意義を明白にすることが必要。シルクロード研究においてこの壁画は、世界的にも注目される遺産であるので、この展覧会でもその重要性をしっかりと説明すべき。
- ・委員より、事業一部変更となっており、これまで事業計画全体の詳細について十分に議論されていないように思うが、詳細な全体計画が必要ではないか。
- ・事務局より、全体計画概要は第2回の組織委員会でも説明していたが、今回の会議資料をもとに今後全体の詳細な計画を改めてお示ししていきたい。
- ・会長より、今回のアフラシアブ壁画の件は、全体の方針にも大きくかわるので取り上げて説明した次第。次回の組織委員会に向け、全体の詳細な計画をお示したい。

3 事業計画の変更（主催者の追加）について

- ・事務局より、事業計画の変更（主催者の追加）について、資料を基に説明。
- ・委員より、今までの実績からするとメディアは広報戦略をもっており、十分な広報活動をやってもらえると考えている。市長には、実際に東京に足を運び広報をしていただきたい。空海展で来場者約20万人を記録した際は、東京での広報を行った。奈良市だけでなく、日本全国の人に見てもらうことが、奈良市のアピールにもなると考える。
- ・オブザーバーより、インバウンドが増える中で、国際交流の視点から進めてもらえるといいかと思う。
- ・会長より、東京で記者会見等を行う場合、文化庁には記者クラブはあるのか。
- ・オブザーバーより、文科省の記者クラブは存在する。
- ・会長より、いただいたご意見を踏まえ、PRを進めていきたい。

4 事業予算の変更について

- ・事務局より、事業予算の変更について資料を基に説明。
- ・委員より、チケット販売の金額は何枚売れた想定なのか。
- ・事務局より、これまでの奈良国立博物館の来場者数を参考に、無料来場者数を含め、78000人程度で見込んでいる。広報面等の強化に努め、さらなる来場者の獲得を目指す。
- ・委員より、あくまでもこれは固い数字で算出されている。実際の目標はもう少し上になるかと。

- ・事務局より、事業予算の補足になるが、メディア 2 社、奈良国立博物館との予算配分や役割分担を現在協議中である。
- ・委員より、当初は奈良市が全額負担し、奈良国立博物館は展示場の提供、学術協力のみというところから始まった。しかし、展覧会実施にあたりマスコミの実質的な協力を得るため、奈良国立博物館としても経費の負担をし、よりよいものにしたいと考えている。

5 令和 8 年度事業概要について

- ・事務局より、令和 8 年度事業概要について資料を基に説明。
- ・奈良以外のところへの広報的なアプローチは考えているのか。JR 東海は今が来年のキャンペーンの準備時期であることも踏まえ、来年のキャンペーンに加わっていきけるような取組があればいいのではないかと。
- ・事務局より、JR 東海の新幹線主要駅でのサイネージ掲示等の検討を現在している。
- ・委員より、ウズベキスタン大使館からの発信も必要である。ウズベキスタン協会等もあるので、広く呼び掛ける必要があると考える。
- ・会長より、さらに発信をしていけるよう関係機関を巻き込んでいきたい。
- ・委員より、展覧会をすると同時に、先行して壁画の歴史的意味や美術的な意味合いを打ち出し、文化財的価値を広くアピールすることが重要ではないか。また万博のレガシーであるような広報戦略が必要では。10 月 13 日は、万博が閉幕されて 1 年後なので、その流れにのるのもひとつの手である。市役所と博物館が実施しているイベントという認識で終わってしまわず、市民参加のプログラムをつくり、市民全体でつくりあげるものだと思ってもらえるようにしてほしい。展覧会にとどまらない広い姉妹都市交流になればよりよい。運営・広報等の詳細な事業計画を見えるかたちで示していただきたい。
- ・会長より、アフラシアブを全面的に押していくことも視野に、サマルカンド自体がまだマイナーなので知ってもらうことが必要。この会議で得た承認を軸に全体像をかためていきたい。また、万博レガシー事業を追い風に進めていきたい。万博レガシー事業の令和 8 年度分は 6 月 3 日締め切りだが、来年の同じ時期に子供向けなどのイベントを、万博レガシー事業を活用して検討できればと思う。
- ・委員より、大阪、東京方面の広報もぬかりなく実施していただきたい。

7 その他

- ・会長より、本日の内容を通してご意見、ご質問はありますか。オブザーバーのお二方からのご感想を。
- ・オブザーバーより、広報に関する戦略は大切。奈良に人が来るような状況をつくってほしい。
- ・オブザーバーより、第 5 号議案資料にあった、お土産説明会の周知には県も協力させていただいた。今後もいろいろな形で協力していければと考えている。
- ・委員より、市長にサマルカンド特別交流展推進室を設置していただいたことに感謝

する。アフラシ阿布壁画はまだ日本の一般の人には、あまり知られていないので、いかにその情報を出していくかが大切。アフラシ阿布壁画を持ってくることが決定した時点で、その価値や日本に来る意義を広く発信してほしい。また、富雄丸山古墳の情報も有効に活用して広報をしてほしい。 ・委員より、町中にポスターによる啓発をするなど機運醸成に向けた状況をつくるべき。 ・事務局より、今後のスケジュールについて説明。	
資 料	【議案第 1 号】 令和 7 年度事業報告書・収支計算書（奈良・サマルカンド特別交流展事業(案)） 【議案第 2 号】 奈良・サマルカンド特別交流展事業計画の一部変更について（案） 【議案第 3 号】 奈良・サマルカンド特別交流展事業計画の一部変更について（案） 【議案第 4 号】 奈良・サマルカンド特別交流展事業予算の変更について(案) 【議案第 5 号】 令和 8 年度事業概要について(案)

上記の会議録の内容を確認しました。

令和 年 月 日

会 長

委 員